



# お元気ですか!

## 志村 たかよし です

第626号 2013年1月27日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1  
電話 3546-5563  
FAX 3546-9570

### 土壌処理量が1・5倍

## 汚染対策工事費は86億円増の672億円に

豊洲新市場建設はもうあきらめるべき



豊洲の土壌汚染対策工事。露出したコンクリートの杭（左）や基礎（右）＝2012年9月17日

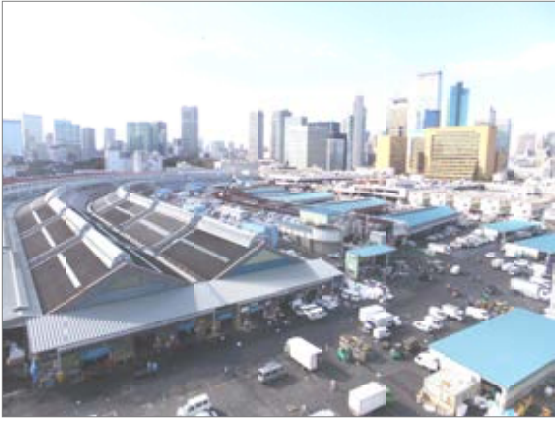
東京都が豊洲新市場の開業を2014年度から15年度に1年延期したことは「お元気ですか624号」でお知らせしましたが、「土壌汚染対策工事費」を86億円も上乘せすることが明らかになりました。

これによって「対策工事費」は、当初予定の586億円から672億円になる見込みです。

1年延期の理由のひとつに、土壌汚染対策で洗浄処理する土の量が28万㎡から41万㎡に約1・5倍増加したことをあげていますが、昨年8月、対策工事現場をメディアに公開したとき、都の担当者は「土壌処理量は増えるが、汚染対策費は増やさない方向で検討している」と説明していました。

今回の対策費の増額について、工事を受注しているゼネコンの要求をのんだのではないかと指摘する声があります。

また、もうひとつの延期理由と



ゼネコン等のねらいは築地市場の一等地

してあげられているのが、コンクリート杭など工場の基礎構築物が、地下から「想定外」（猪瀬都知事）に見つかったことです。

しかし、「想定外」どころか日本共産党や専門家は、1万8千本の埋設杭の存在とともに、杭を抜いて工事をすれば土壌汚染がさらに広がることを以前から指摘していました。

臨海都民連が、1万8千本の杭の埋設状況がわかる図面の情報開示を都に求めましたが、すでに存

在していない工場であるにもかかわらず「企業秘密」を理由に全面公開されませんでした。

都は「杭を抜かないで工事する」と住民説明会で発言していましたが、杭を抜かないで工事できるのか疑問です。

市場関係者からは「ずさんな汚染対策の結果だ」「移転計画を再検討すべきだ」の声が上がっています。

豊洲新市場の建設計画は、鮮魚の卸と仲卸、鮮魚と青果が道路で分断されたり、建物の多層化など、様々な問題点を抱えており、業者の合意もきわめて不十分です。

「食の安全・安心」の点でも、業者の願いを実現する点でも、東京都は築地での現在地再整備を検討すべきです。

また、中央区も「移転推進」から、当初の「移転反対」に立ち戻るべきです。

## 豊洲新市場「仲卸モデル店舗」を視察



昨年、12月26日、志村事務所と「臨海部問題・中央区の会」は、豊洲新市場に予定している水産仲卸のモデル店舗（築地市場内に設置）を視察しました。  
現在の築地市場の仲卸店舗面積は、一コマ7・6㎡ですが、モデル店舗は8・25㎡。  
使用料については、まだ示されていない状況です。

## 行政書士会「賀詞交歓会」に出席



1月18日、行政書士会中央支部の新年賀詞交歓会が交詢社で開催され、日本共産党区議団からは、私と小栗議員が出席し懇談しました。  
行政書士のみなさんが、地域や教育などの場で様々な活動をしていることが紹介されました。

「意見、要望など、お気軽に」連絡ください(03-6366-6900)